

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	協働のむらづくり事業
事業主体 (連絡先)	飯山市 飯山市役所 経済部 農林課耕地林務係 電話 0269-62-3111(内線 265)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業 (6) イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	6,469,145円 (うち支援金: 3,860,000円)

事業内容

実施区と市が打合せ施工計画を立て、その計画に基づきコンクリート製品・生コンクリート等の材料を支給し、また施工に伴い必要な建設機械・車輛の借り上げ等を支援する。地区住民・受益者の地元施工により未整備施設(農道・林道・農業用水路等)の改修・改良を行う。

農道舗装延長 L=510m, 林道舗装延長 L=100.0m

農業用水路延長 L=664.2m

地区住民・受益者参加人数 総計 261名



【農道の舗装作業】

事業効果

- ① 地元施工であるため、請負施工に比べて60%程の事業費で実施できた。
- ② 用水路等の整備では、維持管理労力の軽減及び漏水による水量不足も解消され、農業生産の効率を高めることができた。
- ③ 施設の老朽化等に起因する耕作放棄を未然に防止することができた。
- ④ 道路整備では、農・林作業の省力化と輸送の効率化の推進が図られた。

【目標・ねらい】

- ①維持管理労力軽減及び生産効率の向上を図る
- ②協働作業で地域の活性化を図る
- ③地元施工で安価に施工する
- ④地域に即した整備を図る

※自己評価【 B 】

【理由】

・地元も自ら考え実際に作業を行うことで、事業実施後も施設への愛着を持って利用し、また、より地域に即した整備が進められるようになった。

今後の取り組み

農業従事者の減少や田畑の耕作放棄の防止を図れるよう、更なる効率的な基盤整備に引き続き取り組みたい。また今回施工した農業用施設に対し、愛着を持ちながら管理していただけるよう協働を進めていきたい。

※自己評価(事業評価)欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫改善を要する点がある